

# とよきた

やる気 がんばり 思いやり

学校だより 第7号 R6.11.28

宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード  
カラー版でご覧になれます

## 修学旅行

11月21日(木)・22日(金)、の二日間、鎌倉・横浜、浦安方面へ修学旅行に行ってきました。

一日目は、班別による「鎌倉歴史探訪」です。事前に時間をかけ周到に計画を立てたことが奏功し、長谷寺や佐助稲荷神社などの見学箇所を、各班計画通りに見て回ることができました。

また、各所への移動には、「江ノ電」を利用。小町通りでは、食を楽しみ家族へのお土産も忘れずにゲット！充実の班別歴史探訪でした。

二日目は、夢の国「ディズニーランド」へ。クリスマス仕様のオブジェが子供たちを迎えてくれました。

計画に沿ってアトラクションを楽しみたいところですが、中は大混雑。長い待ち時間となりました。それでも、パレードを見たりドナルドと触れ合ったり、キャラメルポップコーンの良い香りが漂ってきたりと、五感で楽しむことができ、また、ごみが落ちていればすかさずスタッフの方が掃いてくれたりと、「おもてなしの心」を感じました。

夢の国での時間を充実させるため、活動時間を1時間延長。帰校時刻が大幅に遅れてしまい保護者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、子供たちが笑顔を輝かせて戻ってきた時、「これでよかった」と心から思えました。

二つの「ガク」(「学」と「楽」)を満喫した修学旅行でした。

※ 詳細は、豊北小のホームページをご覧ください。



## サツマイモ＆サトイモ掘り

11月14日(木)、全校で兄弟学年(3・4年、2・5年、1・6年)ごとにサツマイモの収穫を行いました。

「にこにこ畑」には、形がよく丁度よい大きさのサツマイモがたくさん実っていました。

子供たちは、イモを傷つけないように優しく丁寧に土をかき分け、幾つもつながったイモを掘り出した時には、「よっしゃー!!」と、会心の笑みを浮かべていました。

また、子供たちは、掘ったイモの特徴によって、「モグライモ」や「イモムシイモ」「デカイモ」等、名前を付けながら収穫を楽しんでいて、そのユニークな発想には、いつも感心させられます。

今日に至るまで、農業ボランティアの方々によるマルチシート掛けに始まり、PTA 奉仕作業や学年ごとの除草作業等、雑草対策を積極的に行った努力が実り、充実のサツマイモ掘りにつながりました。

また、地域の小池啓一様よりご提供いただいたサトイモも順調に育ち、こちらも豊作でした。サトイモの葉っぱを差しながら「トートローッ！」と叫ぶ子供たちに微笑ましさを感じました。

収穫したおイモは、家に持ち帰ったり給食の材料として使ったりしながら美味しさを味わっています。



## 「秋の読書週間」スタート！

11月25日(月)から、「秋の読書週間」がスタートしました。(～12/6)

読書週間は、いつもより1冊多く本が借りられます。また、「おすすめの本の紹介」、「図書館あらいぐま探し」、「おはなし給食」(「14ひきのかぼちゃ」➡かぼちゃ給食、「崖の上のポニョ」➡しょうゆラーメン給食)など、図書委員会による楽しい企画が盛りだくさんで、休み時間になると図書室は子供たちで大賑わいでした。

おすすめの本を探している児童もいれば、本に挟んである「あらいぐまカード」を見付け集づくりをする児童など、楽しみ方はそれぞれでした。そして、子供たちは、読書バッグに3冊の本を入れ、嬉しそうに図書室を後にしました。

秋の夜長、ご家庭でも、お子さんと一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



## 教育支援者感謝状贈呈式

11月9日(土)、南図書館 サザンクロスホールにおいて、「教育支援者感謝状贈呈式」が行われ、本校では、青柳和歌恵様と北見洋子様にご贈呈されました。

この感謝状は、宇都宮市教育委員会より、学校教育への支援や地域における子どもの育成活動に貢献されている方へ贈られるものです、誠にありがとうございます。

以下、お二人からいただいている支援の内容です。

図書整備ボランティアとして、本の修繕や図書室の環境整備をしていただいたり、家庭科のミシンボランティアとして授業支援をしていただいたりする等、子供たちを育む活動にご尽力くださっています。



## 大健闘！市陸上競技大会

10月29日(火)、宇都宮市陸上競技大会が、憧れの「カンセキスタジアム」で開催されました。



子供たちは、この日の為に、日々、精一杯練習に励んできました。

また、練習の様子を見ていると、「ファイト！」「腕振って！」と、友達同士で

声を掛け合っている姿が多く見られ、豊北のチームワークの良さを感じました。

そして迎えた本番。6年生の向山美織さんが走り高跳びで115cmを跳びブロック3位の好成績を収めた他、6位入賞や自己新記録を出すなど、それぞれの選手が練習の成果を存分に発揮しました。

その陰には、選手にはなれなくても、共に声を掛け合いながら練習に励んできた仲間の存在がありました。大健闘の「チーム豊北！」でした。

### 《Bブロック入賞》

【走り高跳び】

6年女子 第3位 115cm 向山 美織

【男女混合4×100mリレー】

5年 第5位 1分2秒58

荒木 心晴 糸川 ひまる

齋藤 仁我 柴山 蓮人

## 「ようこそ センパイ！」を開催

11月11日(月)、山形大学附属病院 心臓血管外科医の林潤さんを豊郷北小学校にお迎えして「ようこそセンパイ！」を開催しました。



この企画は、昨年度より立ち上げ、今年で2回目となります。

林潤さんは、2022～2023年までオランダに留学。世界トップレベルの医療の現場で活躍し、今年、山形大学附属病院に戻ってこられました。その林さんは、平成6年(1994年)度の本校の卒業生なのです。

子供たちは、林さんに会える日を楽しみに、6年生が中心となって会場作りを行いました。

そして迎えた当日、大きな喜びの中で「林センパイ！」をお招きすることができたのです。会場には、多くの保護者・地域の皆様が駆け付けてくださり、ご参観いただきました。

講演会では、スライドを駆使しながら心臓が体中に血液を押し出すポンプとしての役割を1年生にも分かるように説明していただきました。また、心臓疾患の患者さんの命を救う最前線の現場の様子をインタビュー動画を交えながら臨場感をもって伝えていただきました。

「患者さんの命が懸かる過酷な現場だからこそ辛いこともたくさんありますが、『辛い時こそ伸びている』を座右の銘として、辛い時こそ自分を成長させてくれる時ととらえ、日々前向きに頑張っています。」との言葉に、胸が熱くなりました。

続いて、体験コーナーでは、聴診器で心臓の音を聴いてみる体験ができ、「あっ、聴こえた！ドキドキがよく聴こえる。」と嬉しそうでした。



質問コーナーやお礼の言葉、花束贈呈の児童は、憧れのセンパイを前にドキドキの鼓動が伝わってくるようでしたが、役目を果たした子供たちは、とても満足そうでした。

最後に、林センパイを囲んで全員で記念撮影！皆、素敵な表情でカメラに収まりました。

こうして「ようこそセンパイ！」は、幕を閉じ、あっという間の夢のような1時間でした。

今回、豊北小の子供たちが、一流のセンパイと直接触れ合えたことは、かけがえのない経験で

あり「一生の金の思い出」になったと確信します。

今日の林センパイとの出会いを胸に、夢と希望の前進を開始してまいります！そして、いつの日か、今日参加した子供たちの中から陸続と「ようこそセンパイ！」として、豊北小に帰ってきてくれることを願っています。

※ この模様は、「とちテレ」で放映されました。右記のQRコードを読み取り、是非ご視聴ください。 ➡



## 熱戦！市P連バレーボール大会

11月24(日)、市P連バレーボール大会が、富屋小学校体育館で行われました。

「チーム豊北」は、いつも通り明るく声を掛け合いながらウォーミングアップを行い、良い雰囲気の中で選手一人一人が気持ちを高めていました。

試合が始まると、序盤は接戦でしたが次第に豊北のペースになり、みるみるうちに点差を広げて1セット目を先取。しかし、2セット目以降は、相手に主導権を握られ苦しい展開に…。それでも、そのままでは終わらないのが「チーム豊北」です。拾って・つないで得点にしていける粘りのバレーを見せ、どんどん点差を縮めていきました。また、拾えなくても諦めずに突っ込んでいくハッスルプレイが随所に見られ、その姿に熱いものを感じました。



結果は、セットカウント1-2で逆転負けを喫してしまいましたが、一球に集中しカバーし合う姿、最後まで笑顔で声を掛け合う姿にチームワークの良さが表れ、もてる力を存分に発揮しました。この悔しさをバネに練習を重ね、来年こそ「豊北旋風！」を巻き起こしましょう。

練習から当日に至るまで、選手をサポートしてくださった坂井委員長様を始め保健体育委員会の皆様、応援に駆け付けてくださった皆様、本当にありがとうございました。

